

レゴを用いた卓球マシンの製作の研究

電子情報科 近藤 玄, 正村 彰良, 白倉 臣, 森永 遥久

背景

コロナ渦ではなかなか体育館に行けなかった。
気軽に友達を誘って練習することができない
環境であった。

目的

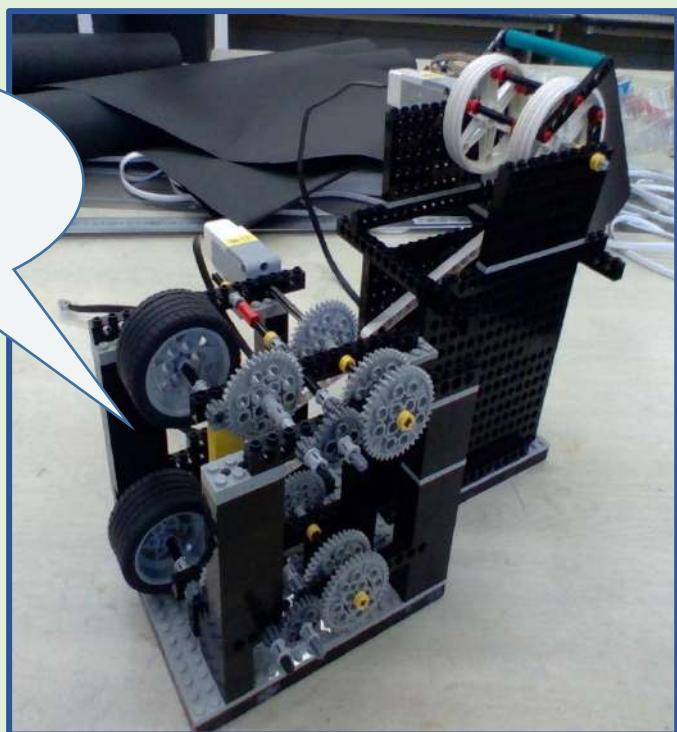
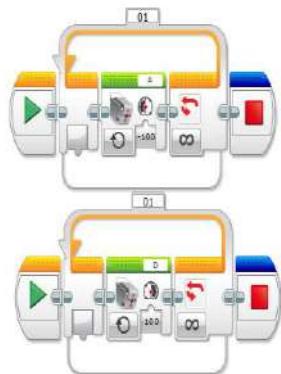
一人でも卓球の練習ができるマシンを作る

方法

レゴブロックを用いて機構を作り、タイヤで球を飛ばす
タイヤへの命令はブロックプログラミングを用いて実行させる

結果

2つの
タイヤで
飛ばす



ブロックプログラミング

完成図

※動かすときは上からカバーが付きます

考察

レゴとブロックプログラミングを用いて、実際に使える卓球マシンを作ることができた。モーターとレゴをもっとうまく用いることができれば回転などの細かい操作もできると考えた。

経過

- | | |
|-----|-------------------|
| 1学期 | 飛ばし方を考える
機構の製作 |
| 2学期 | 機構の調整
土台の製作 |
| 3学期 | 〃 |